

小学校外国語科における絵本や物語の活用に関する一考察 —検定教科書の分析を中心に—

中島 眞吾

A Study on the Usage of Picture Books or Stories in English Textbooks for Elementary School Students

Shingo NAKASHIMA

English has been taught as an academic subject in Grade 5 and Grade 6 as “Foreign Languages” and as “Foreign Language Activities” in Grade 3 and Grade 4 in Japanese elementary schools since 2020. There are textbooks approved by the Ministry of Education, Culture, Sports, Science, and Technology (MEXT) made by seven publishers. They are designed to allow 5th-graders and 6th-graders to learn a total of 600 to 700 English words and develop listening, reading and writing skills, as well as abilities to speak English in conversation and presentation. According to *the Courses of Study* for “Foreign Languages”, it is recommended that students use picture books and stories as language activities in class. Using picture books and stories is also regarded as important in pre-service teacher education. The purpose of this paper is to analyze the seven English textbooks and consider the characteristics of each textbook, focusing on how picture books and stories appear in the textbooks.

キーワード：小学校外国語科、学習指導要領、教科書、絵本、物語

Keywords: Foreign Languages in Elementary School, Course of Study, Textbook, Picture Book, Story

1. はじめに

2020年度より教科「外国語」が小学校5・6年生で完全実施となった。2020年度以前は、小学校では5・6年生で「外国語活動」として英語活動を行なってきたが、2020年度からは3・4年生では「外国語活動」、5・6年生では教科「外国語」として英語を学ぶことになった。教育課程においては、中学年（3・4年生）では、週に1コマ、年間35時間の「外国語活動」が行われ、高学年（5・6年生）では、週に2コマの「外国語」が必修となる。また、「外国語活動」は、教科ではなく必修の領域科目であり、「外国語」は教科となり、大まかに整理すると以下ようになる。

- ①「外国語活動」は検定教科書がなく、副読本・教材（これまで文部科学省から配布されている *Let's Try! 1, 2*）を使用し、文言による評価はあるが、評価はなし。
- ②「外国語」は各自治体で採択された検定教科書を使用し、数値による評価（評価）を行う。

現行の学習指導要領における小学校での外国語教育はまだスタートしたばかりということもあり、今後整理していかなければならない課題もある。例えば、①授業は誰が進めるのか（学級担任もしくは専科教員）、②教科書の難易度は適切なのか、③どのように評価したらよいのか、④時間数の確保の問題などが挙げられる。

本論文では、小学校で新たに教科となった「外国語」で現在使用されている7社の検定教科書の「絵本・物語」に焦点を当て、それらがどう扱われているかを整理、分析し、「外国語」における絵本や物語の活用について考察していきたい。

2. 小学校外国語教育における「絵本・物語」のこれまで

2013年12月に文部科学省が「グローバル化に対応した英語教育改革実施計画」¹⁾を発表し、小学校英語教育の拡充の検討が本格的に行われることとなった。2014年9月26日の英語教育のあり方に関する有識者会議において報告された、「今後の英語教育の改善・充実方策について～グローバル化に対応した英語教育改革の5つの提言（報告）」²⁾では、小学校中学年における外国語活動を導入する場合、以下のような方向性を示した。

「言語や文化についての体験的理解や、外国語の音声等への慣れ親しみ、コミュニケーションへの積極性を中心とする外国語活動（活動型）を行い、コミュニケーション能力への素地を養うこととする。」

加えて、小学校高学年に教科化に伴って、「教科書・教材の充実」に関して、以下のように示されている。

「小学校高学年で教科化する場合、学習効果の高いICT活用も含め必要な教材等を開発・検証・活用する。」

「小学校中学年では、発達段階に応じた外国語活動に必要な教材を開発する。」

「小学校の高学年では、中学年での外国語活動を継承し、また、中学校での学習への円滑な接続を踏まえながら、アルファベット文字の認識、日本語と英語の音声の違いやそれぞれの特徴、語順への気付きを促す指導に有効な教科書等の教材が必要である。」

また、2015年8月26日の中央教育審議会教育課企画部会の「論点整理」³⁾においては、中学年の外国語活動の内容として、以下のような議論と提言があった。

「中学年からは、外国語学習への動機付けを高めるため、体験的に「聞く」「話す」を中心とした外国語活動を通じて、言語や文化についての体験的理解や、音声等への慣れ親しみ等を発達段階に適した形で養うとともに、指導内容・方法や活動の設定、教材の工夫、他教科等で児童が学習したことを活用するなどの工夫により、指導の効果を高めることが必要である。」

以上の議論、提言を受けて、文部科学省は小学校の新たな外国語の補助教材（中学年用）を開発することになった。具体的には、以下の3つである。

・3年生用「In the Autumn Forest」（教室用大型絵本・児童用小型絵本）⁴⁾

- ・ 4年生用「Good Morning」「教室用大型絵本・児童用小型絵本」⁵⁾
- ・ 3・4年生用「Hi, friends! Story Books」(デジタル教材)⁶⁾

前学習指導要領のもとで行われていた5・6年生の外国語活動においては、5年生で、“Hi, friends!1”、6年生では“Hi, friends!2”（いずれも2012年度配布）の教科書が使われていた。その中でも、“Hi, friends!2”の指導書⁷⁾の中では、絵本の読み聞かせについての重要性として、「絵本の絵から情報を読み取り、状況を理解しながら、児童は相手の話を聞くことになるため、「聞いてわかる」体験をさせやすい。」とし、「外国語活動でも、外国語による絵本の読み聞かせを行うことが考えられる。絵本を題材に、グループでオリジナル絵本を作ったり、物語を劇やペープサートを使って演じてみせることで、絵本の内容をより理解することにつながる。」という認識のもと、小学校の英語教育が行われ、中学年においても補助教材の絵本を作成するに至った。

3. 学習指導要領と教員養成における「絵本・物語」の扱い

3.1 学習指導要領

学習指導要領における「絵本・物語」の扱いについて見ていきたい。2017年に告示され、2020年度に施行された学習指導要領⁸⁾では、外国語の目標や具体的な内容や言語活動について以下のように提示している。

1 目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付き、これらの知識を理解するとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けるようにする。
- (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。

また、「読むこと」に関しての具体的な内容として、

「読むこと」

- ア 活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音することができるようにする。
- イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。

とあり、内容については、〔思考力、判断力、表現力等〕の項目内で、

- (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項

①言語活動に関する事項

「読むこと」

- (ア) 活字体で書かれた文字を見て、どの文字であるかやその文字が大文字であるかを識別する活動。
- (イ) 活字体で書かれた文字を見て、その読み方を適切に発音する活動。
- (ウ) 日常生活に関する身近で簡単な事柄を内容とする掲示やパンフレットなどから、自分が必要とする情報を得る活動。
- (エ) 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を、絵本などの中から識別する活動

と明記されており、(3) 言語活動及び言語の働きに関する事項の(エ)では、「絵本などの中から識別する活動」と具体的な言及があることから、学習指導要領において、「読むこと」の指導の際に、絵本を活用した言語活動を想定していることが窺える。

3.2. 教員養成—小学校教員養成課程における外国語（英語）コアカリキュラム

2019年度から大学で行われている小学校外国語教育に関する教員養成について見ていきたい。2017年に東京学芸大学が、教員養成における全国的な水準を確保するために、大学が教職課程を編成するときに参考とする指針として教職課程コア・カリキュラムを作成した。これをもとに小学校教員養成のために作成されたのが、『外国語（英語）コアカリキュラム』⁹⁾であり、現在、大学の小学校教員養成課程では、外国語教育に関する科目として、「外国語の指導法」（2単位）と「外国語に関する専門的事項」（1単位）が必修科目である。小学校教員養成課程に関連する『外国語（英語）コアカリキュラム』の概要は以下のようである。

〔1〕外国語の指導法（2単位程度を想定）

【全体目標】

小学校における外国語活動（中学年）・外国語（高学年）の学習、指導、評価に関する基本的な知識や指導技術を身に付ける。

【学習内容】

1. 授業実践に必要な知識・理解

(1) 小学校外国語教育についての基本的な知識・理解

- ①学習指導要領
- ②主教材
- ③小・中・高等学校の連携と小学校の役割
- ④児童と学校の多様性への対応

(2) 子供の第二言語習得についての知識とその活用

- ①言語使用を通じた言語習得
- ②音声によるインプットの内容を類推し、理解するプロセス
- ③児童の発達段階を踏まえた音声によるインプットの在り方
- ④コミュニケーションの目的や場面、状況に応じた意味のあるやり取り
- ⑤受信から発信、音声から文字へと進むプロセス
- ⑥国語教育との連携等による言葉の面白さや豊かさへの気づき

2. 授業実践

(1) 指導技術

- ①英語での語りかけ方
- ②児童の発話の引き出し方、児童とのやり取りの進め方
- ③文字言語との出合わせ方、読む活動・書く活動への導き方

(2) 授業づくり

- ①題材の選定、教材研究
- ②学習到達目標に基づいた、指導計画（年間指導計画、単元計画、学習指導案）や1時間の授業づくり
- ③外国語指導助手（ALT）等とのチーム・ティーチングによる指導の在り方
- ④ICT等の活用の仕方
- ⑤学習状況の評価（パフォーマンス評価や学習到達目標の活用を含む）

【学習形態】

上記の内容を学習する過程においては、教員の講義にとどまることなく、以下の学習形態を必ず盛り込むこととする。

- ①授業参観：小・中・高等学校の授業映像の視聴や授業の参観
- ②授業体験：授業担当教員による指導法等の実演（学生は児童役として参加する等）
- ③模擬授業：1単位時間（45分）の授業あるいは特定の活動を取り出した模擬授業の実施

〔2〕外国語に関する専門的事項（1単位時間を想定）

【全体目標】

小学校における外国語活動・外国語の授業実践に必要な実践的な英語運用能力と英語に関する背景的な知識を身に付ける。

【学習内容】

1. 授業実践に必要な英語力と知識

(1) 授業実践に必要な英語力

- ①聞くこと
- ②話すこと「やり取り、発表」
- ③読むこと
- ④書くこと

(2) 英語に関する背景的な知識

- ①英語に関する基本的な知識（音声、語彙、文構造、文法、正書法等）
- ②第二言語習得に関する基本的な知識
- ③児童文学（絵本、子供向けの歌や詩等）
- ④異文化理解

（以上、⁹⁾ から抜粋して引用）

「外国語の指導法」では、授業実践に必要な知識・理解として小学校外国語教育についての基本的な知識や理解と並んで、「子供の第二言語習得についての知識とその活用」が学習内容として挙げられており、その中でも、

- ②音声によるインプットの内容を類推し、理解するプロセス
- ③児童の発達段階を踏まえた音声によるインプットの在り方
- ④コミュニケーションの目的や場面、状況に応じた意味のあるやり取り
- ⑤受信から発信、音声から文字へと進むプロセス
- ⑥国語教育との連携等による言葉の面白さや豊かさへの気づき

の5項目のような学びは、絵本や物語といった教材の活用が考えられる。⁹⁾

また、「外国語に関する専門的事項」では、授業実践に必要な英語力と知識として、以下の3項目が挙げられている。⁹⁾

- ②第二言語習得に関する基本的な知識
- ③児童文学（絵本、子供向けの歌や詩等）
- ④異文化理解

小学校で外国語を指導するにあたって、第二言語習得や児童文学のような英語に関する背景的な知識が必要とされており、カリキュラムや教科書にこれらを踏まえた学習内容が組み込まれていることが考えられる。

4. 全7社の検定教科書における絵本・物語の扱い

現在、全国の自治体で採択され、小学校で使用されている全7社の検定教科書における絵本・物語がどのような題材、内容であるかを見ていき、それぞれの特徴などを比較、分析していく。

今回、分析の対象とするのは、5・6年生の外国語科で使用する全7社（①東京書籍、②三省堂、③教育出版、④学校図書、⑤啓林館、⑥開隆堂、⑦光村図書）の検定教科書である。（それぞれ5・6年で教科書が異なるため、7社×2種類＝合計14種類が対象となる。）

以下の記述では、①から⑦まで出版社毎にまとめた。それぞれ順に、出版社、教科書名、絵本・物語が記載されているページ、活動名（下線部が施してある）、絵本・物語のタイトル、絵本・物語の特徴が記述されている。

①東京書籍

- ・NEW HORIZON Elementary English Course 5¹⁰⁾（5年生用）p. 84
STORY TIME “A Bundle of Sticks” 動画付きの物語

- ・NEW HORIZON Elementary English Course 6¹¹⁾（6年生用）pp. 82-83, p. 85
STORY TIME “Butterfly Friends” 動画付きの物語。
ドイツに古くから伝わるお話。また、「おすすめの英語の絵本」として、8冊の絵本が紹介されている。

②三省堂

- ・CROWN Jr. 5¹²⁾（5年生用）p. 43, p. 53, p. 79
Story “Twelve Months” スロバキアの民話。4コマのイラスト付きの物語。
“The Happy Prince” 『幸福の王子』オスカー・ワイルド作の童話。
4コマのイラスト付きの物語。

- ・CROWN Jr. 6¹³⁾（6年生用）p. 19, p. 45, p. 55, p. 81

Story “Gulliver’ s Travels” 『ガリバー旅行記』 ジョナサン・スウィフト原作の物語。 4 コマのイラスト付きの物語。

“The Blue Bird” 『青い鳥』

メーテルリンク作の物語。 4 コマのイラスト付きの物語。

“Mary Had a Little Lamb” 『メリーさんのひつじ』 アメリカの童謡。

4 コマのイラスト付きの物語。

③教育出版

・ ONE WORLD Smiles 5 ¹⁴⁾ (5年生用) p. 90

Let’ s Read and Act 2 “A Good Idea!” 『はしの上のおおかみ』 奈街三郎 原作の物語。 8 コマのイラスト付きの物語。

・ ONE WORLD Smiles 6 ¹⁵⁾ (6年生用) pp. 82-85

Let’ s Read and Act 2 “The Letter in Frog and Toad Are Friends” 『おてがみ—ふたりはともだち』 アーノルド・ローベル作の物語。挿絵付きの簡略化版。かえるくんのお手紙を読んだ後、「大切な人に手紙を書いてみよう。」という「書くこと」の活動あり。

④学校図書

・ JUNIOR TOTAL ENGLISH 1 ¹⁶⁾ (5年生用) p. 31, p. 43, p. 53, p. 65, p. 77, p. 91, p. 103, p. 113, p. 125, p. 135

Shaggy’ s Story 毎 Lesson の終わりにある教科書オリジナルの物語。イギリスのコッツウォルズに住む Shaggy という犬とその飼い主の Bella が主人公の日常を描いた物語。

・ JUNIOR TOTAL ENGLISH 2 ¹⁷⁾ (6年生用) p. 27, p. 37, p. 51, p. 63, p. 75, p. 89, p. 99, p. 111, p. 121, p. 131

Shaggy’ s Story JUNIOR TOTAL ENGLISH 1 と同じ形式であり、毎 Lesson の終わりにある教科書オリジナルの物語。物語の内容も JUNIOR TOTAL ENGLISH 1 の続きであるが、新たに Bella のいところが加わる。

⑤啓林館

・ Blue Sky Elementary 5 ¹⁸⁾ (5年生用) pp. 96-99

Story “Who’ s Behind Me?” 『うしろにいるのだあれ』 accototo (ふくだ としお + あきこ) の英語版。絵本の形式で 14 枚のスライドの形式になっている。

・ Blue Sky Elementary 6 ¹⁹⁾ (6年生用) pp. 96-99

Story “The Very Big Turnip” 『おおきなかぶ』 ロシアの民話。絵本の形式で 9 枚のスライドの形式になっている。

⑥開隆堂

・ Junior Sunshine 5 ²⁰⁾ (5年生用)

絵本・物語形式なし

・ Junior Sunshine 6 ²¹⁾ (6年生用) pp. 96-97

Lesson9 My Favorite Memory「大きなかぶ」を読もう。『おおきなかぶ』ロシアの民話。絵本の形式で、9枚のスライドの形式になっている。イラストはあるが、イラスト内に文字は無く、読み物というより、物語を聞いて内容を把握した後、その他の活動に繋げる形式になっている。

⑦光村図書

・Here We Go! 5²²⁾ (5年生用) p.105

Fun Time 5 英語の物語 “The Gingerbread Man” ヨーロッパやアメリカの民話。物語を楽しみながら、ジンジャーブレッドマンのせりふを目で追い、音声の後について言う活動や物語がどうなるのかを予想する活動に繋げる形式になっている。

・Here We Go! 6²³⁾ (6年生用) p.59, p.103

Fun Time 4 英語の物語 “The Rolling Rice Ball” 日本の民話『おむすびころりん』音声聞いて、英語のリズムを楽しみ、音声の後について言う活動を行う形式となっている。

Fun Time 8 英語の物語 “Kurikindi” 『クリキンディの伝説』南米エクアドルに民話として伝わる物語。音声聞いて、英語のリズムを楽しみ、物語を聞いて内容を推測する活動を行う形式となっている。

5. 考察

7社の検定教科書を「絵本・物語」の扱いに焦点を絞り、見てきた。各教科書によって形式・内容共に様々であったが、それぞれの教科書における、絵本・物語を扱う分量や具体的な内容について分析、考察し、特徴的な部分を中心に述べていきたい。

まず、絵本・物語を扱う分量については、教科書によって様々であり、Junior Sunshine 5 (開隆堂) のように、絵本・物語形式の扱いが全くない教科書もあれば、JUNIOR TOTAL ENGLISH 1・2 (学校図書) のように、毎 Lesson の終わりに、それぞれの Lesson に関連する物語が付けられている教科書もあった。本教科書は Lesson 1 から 10 まであり、合計 20 もの物語を読むことになるので、コンスタントに読む活動を取り入れた指導が期待できる。学校図書の1社を除いては、1冊の教科書に対して1ページから数ページで1回、もしくは数回に分けて扱っていた。全体的には、絵本・物語を扱う割合は決して高くはないと言えるであろう。

次に、内容について述べていきたい。扱う内容を大まかに分類すると、国内外の民話・伝説・童謡、文学、絵本、教科書オリジナルの物語に分けられる。

具体的には、“Butterfly Friends”、“Twelve Months”、“The Gingerbread Man”、“Kurikindi”といった海外の古くからその地に伝わる民話や伝説を題材にしたものや、“The Rolling Rice Ball”のように日本の昔話もあり、国内外の伝統的に継承される文化に触れることができ、これらは、国際理解教育の一端を担っていると言えるであろう。

“The Happy Prince” (『幸福の王子』)、“Gulliver’s Travels” (『ガリバー旅行記』)、“The Blue Bird” (『青い鳥』)、“The Letter in Frog and Toad Are Friends” (『おてがみ一ふたりはともだち』)といった日本でもよく知られた海外文学作品や、日本の絵本である、『はしの上のおおかみ』、『うしろにいるのだあれ』を題材に、絵はオリジナルのままで、セリフを日本語から英語に訳したものもあった。これらの絵本や文学作品に関しては、多くの児童が幼児教育や小学校低学年・中学年において触れたこと

があるものが多いこともあり、英語で分からない語句が出てきても、児童が持っている背景知識で補い、予想するなどして、前向きに取り組む機会を与えてくれる教材となるであろう。また、『おてがみ—ふたりはともだち』、『はしの上のおおかみ』、『おおきなかぶ』のように、小学校における国語科や道徳科など他教科の教科書に載っている絵本を扱っている教科書もあり、これらは他の教科で学習した題材を改めて外国語科の中で別の視点から学ぶという、教科横断的な学びの機会となる。

Blue Sky Elementary 6（啓林館）と Junior Sunshine 6（開隆堂）は同じ6年生用の教科書であるが、ともに『おおきなかぶ』を題材としていた。ともに絵本の形式で9枚のスライドを使用しているが、Blue Sky Elementary 6（啓林館）では、通常の絵本のように文字があり、独立した読み物として読む活動を中心とした作りになっているが、Junior Sunshine 6（開隆堂）では、『My Favorite Memory「大きなかぶ」を読もう。』というタイトルの課であるものの、読む活動を想定した『おおきなかぶ』というよりは、児童にとって馴染みのある『おおきなかぶ』という物語を聞いて、物語の続きを考えるといったアクティビティ行ったり、2つの絵を見て“The cat pulled the dog.” がどちらを正しく表しているのかを選ばせたり、1つの絵を見て、1. “The fox pulled the pig.” もしくは 2. “The pig pulled the fox.” なのかを選ばせるといった、英語の語順を意識させるようなアクティビティを中心に据えているという違いがみられた。

最後に、「絵本・物語」を扱うとなると、内容理解や文字の指導に偏ることがあるが、どの教科書も音声や動画を大切に言語活動を意識した構成となっていた。言語活動について上記の3.1でも見たように、学習指導要領の中で「音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を、絵本などの中から識別する活動」⁸⁾と明記していることもあり、QRコード等により絵本や物語の動画や音声が付属している教科書もある。これらを活用することで、授業だけでなく自学用としても英語に触れることができる。このような教科書の作成における一つの小さな配慮からも、小学校の外国語教育において、「読む」「聞く」「話す」「書く」の4技能をバランスよく学ぶことを重視していることがわかる。

6. まとめ

今回は、現在使用されている全7社の検定教科書を分析の対象とし、それぞれの教科書の中で、絵本・物語がどのように扱われているのかについて分析し、それぞれの教科書の特徴などについて考察してきた。教科としての「外国語」は2020年度から新たにスタートしたばかりであり、今回分析した教科書もそのスタートに合わせて作成された。考察でも述べたように、特徴はそれぞれ異なるが、どの教科書も「読む」「聞く」「話す」「書く」の4技能をバランスよく学ぶことを意識した構成になっている。授業をデザインする際には、まずはその教科書という材料にどのような特徴があるのか、またどのような意図を持って作成されているのかを考えるとところから始めるのも一つの方法である。

今後は、本稿での考察を踏まえ、小学校の外国語教育の現場で行われている絵本・物語を活用した授業実践についても見ていきたい。また、授業においては教科書のみを使用するわけではないので、教科書で扱われていない絵本・物語についても調査していく。

これらの視点を持ちつつ、引き続き小学校外国語教育における絵本・物語の活用について注目していきたい。

参考・引用文献

- 1) 文部科学省(2013).「グローバル化に対応した英語教育改革実施計画」.
https://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/__icsFiles/afieldfile/2014/01/31/1343704_01.pdf
- 2) 文部科学省(2014).「英語教育のあり方に関する有識者会議「今後の英語教育の改善・充実方策について～グローバル化に対応した英語教育改革の5つの提言(報告)」」.
https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/102/houkoku/attach/1352464.htm
- 3) 文部科学省(2015).「中央教育審議会教育課企画部会[論点整理]」.
https://www.mext.go.jp/component/b_menu/shingi/toushin/__icsFiles/afieldfile/2015/12/11/1361110.pdf
- 4) 文部科学省(2018).『In the Autumn Forest』文溪堂.
- 5) 文部科学省(2018).『Good Morning』文溪堂.
- 6) 文部科学省(2016).「小学校の新たな外国語教育における補助教材(Hi, friends! Story Books)作成について(第3・4学年用)」.
https://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/1370103.htm
- 7) 文部科学省(2012).『Hi, friends!2 指導編』.
- 8) 文部科学省(2017).『小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 外国語活動・外国語編』開隆堂出版.
- 9) 文部科学省(2019).「外国語(英語)コアカリキュラム」.
https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/__icsFiles/afieldfile/2019/04/04/1415122_3.pdf
- 10) アレン玉井光江 他(2020).『NEW HORIZON Elementary English Course 5』東京書籍.
- 11) アレン玉井光江 他(2020).『NEW HORIZON Elementary English Course 6』東京書籍.
- 12) 酒井英樹 他(2020).『CROWN Jr.5』三省堂.
- 13) 酒井英樹 他(2020).『CROWN Jr.6』三省堂.
- 14) 金森強・本多敏幸 他(2020).『ONE WORLD Smiles 5』教育出版.
- 15) 金森強・本多敏幸 他(2020).『ONE WORLD Smiles 6』教育出版.
- 16) 吉田研作 他(2020).『JUNIOR TOTAL ENGLISH 1』学校図書.
- 17) 吉田研作 他(2020).『JUNIOR TOTAL ENGLISH 2』学校図書.
- 18) 影浦攻 他(2020).『Blue Sky Elementary 5』啓林館.
- 19) 影浦攻 他(2020).『Blue Sky Elementary 6』啓林館.
- 20) 萬谷隆一 他(2020).『Junior Sunshine 5』開隆堂.
- 21) 萬谷隆一 他(2020).『Junior Sunshine 6』開隆堂.
- 22) 小泉仁 他(2020).『Here We Go! 5』光村図書.
- 23) 小泉仁 他(2020).『Here We Go! 6』光村図書.